

阪神・淡路大震災 25 年の軌跡

全労済協会シンポジウム

震災を 正しく恐れ 正しく備える

日時 2020年1月22日(水)

会場 13:30～(開場13:00)
全電通労働会館 多目的ホール
東京都千代田区神田駿河台3丁目6
(御茶ノ水駅・淡路町駅・小川町駅
各駅より徒歩5分)



◆ プログラム

講演①

阪神・淡路大震災 25 年を振り返る
～被災者支援・市民運動の歴史～

兵庫県立大学大学院
減災復興政策研究科長 室崎 益輝氏



講演②

被災者生活再建支援法の課題を探る

弁護士 津久井 進氏



トークセッション

私たちが震災を正しく恐れ
正しく備えるために

アナウンサー 渡辺 真理氏
室崎 益輝氏
津久井 進氏



1995年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」。甚大な被害を残した一方で大規模災害時に役立つ遺産もあることをご存じでしょうか？

災害現場で活躍する「ボランティア活動」や被災者の生活再建を公的に支援する「被災者生活再建支援法」。これらは市民レベルの助け合いや、こくみん共済 coop(全労済)グループ、連合、日本生協連、兵庫県が一丸となって取り組んだ2,500万もの署名活動が基となって生まれました。

その遺産や経験が、大災害が多発する現代に語りかけていることとは何なのでしょう。防災研究の第一人者である兵庫県立大学・室崎氏と被災者支援に奔走されている津久井弁護士をお招きして、25年間の軌跡をたどるとともに、その経験から何を学び、今後、想定される首都直下型地震に私たちはどのように立ち向かえばよいか。

皆さんと一緒に考えたいと思います。

参加
無料

定員
300名

申し込み締め切り
12月13日(金)

*お申し込み多数の場合は
抽選とさせていただきます。

詳細・お申し込みはホームページにてご確認ください

当協会ホームページにてご確認ください

全労済協会

検索

<https://www.zenrosaikyokai.or.jp/>

- 参加者(当選者)には、ハガキの「参加証」を、2020年1月15日(水)までにお送りします(予定)。
- 抽選の場合は参加証の発送をもって当選のご連絡とさせていただきます。
- いただいた個人情報は、本シンポジウムならびに今後の全労済協会活動のご案内目的のために利用させていただきます。

【全労済協会とは】一般財団法人 全国勤労者福祉・共済振興協会は、豊かな福祉社会づくりをめざし、社会保険問題、雇用問題、少子・高齢社会対策など勤労者の生活・福祉に関するテーマについて、各種調査研究の実施やシンポジウムやセミナーを開催する等の事業活動を総合的に展開しています。
東京都渋谷区代々木2-11-17 ラウンドクロス新宿5階 TEL:03-5333-5127 [平日9:00~17:15]

全労済協会
一般財団法人 全国勤労者福祉・共済振興協会